

介護の基本Ⅲ

担当教員 川俣 幹雄、小阪 勝己

配当年次 1年

開講時期 第2学期

単位区分 選択

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

介護職の立場からリハビリテーションの理念について説明できるようになる。また、障害とは何か、障害を持った方の家族支援の在り方や介護における多職種連携の在り方について説明できるようになる。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	リハビリテーションとは？（川俣）
2	障害の理解（川俣）
3	ICFの概念（川俣）
4	介護を必要とする人の理解（生活暦と価値観）（小阪）
5	介護を必要とする人の理解（障がいや老いと向き合うことの難しさ）（小阪）
6	羞恥心を守る介護の重要性（小阪）
7	家族支援の実際（家族の介護負担、虐待発生のメカニズム）（小阪）
8	家族支援の実際（精神的支援の具体的方法）（小阪）
9	介護福祉士とリハビリテーション専門職との連携の重要性（小阪）
10	生活環境と介護（小阪）
11	良い介護を生む組織・環境づくり（小阪）
12	安全確保、リスクマネジメント（KYT活動等）（小阪）
13	多職種連携の重要性（施設内で行われる多職種連携の実際）（小阪）
14	多職種連携の重要性（在宅で行われる多職種連携の実際）（小阪）
15	介護福祉士に求められているものとは何か（小阪）

【履修上の注意事項】

各回の授業テーマと関連する教科書の該当箇所を事前に予習しておくこと。授業後に復習しておくこと。演習問題は2回以上解いてください。

【評価方法】

期末試験50%、日常的学習状況50%で評価する。

【テキスト】

介護福祉士養成講座編集委員会『介護の基本Ⅰ』『介護の基本Ⅱ』中央法規（最新版）

【参考文献】

適宜講義中に紹介する。